

授業改善推進プラン

旭丘中学校

教科名	保健体育	担当教員	松浦 直人・青山 恭子
-----	------	------	-------------

1 昨年度の授業改善の成果と課題

【成果】	・ 学習態度、意欲が向上。規律を守った整然とした授業を行っている。
【課題】	・ 基礎的な運動能力の向上。（持久力・瞬発力・ジャンプ力・スピード） ・ 課題解決学習、個別指導の工夫。 ・ 本時の授業の目当ての明確化、振り返りによる出来栄の確認。

2 今年度の本校生徒の学習指導上の課題

1 年	<p>① 基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動能力と柔軟性の向上。 ・ 身体の変化や仕組みの習得。 ・ 種目に適した体づくり運動の実施。 <p>② 主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の運動能力や知識を把握させ、基本的な運動能力の向上につなげる。そのために、具体的でわかりやすいアドバイスや問いかけが多くする。 ・ 保健分野は、運動や日常生活との関わりについて関心をもたせる。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ全般、体を動かすことについて関心を高める。 ・ 準備運動の大切さを学ばせる。 ・ 集合時間厳守、集団行動の徹底等、規律を守らせる。
2 年	<p>① 基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動能力と柔軟性の向上を図る。 ・ 種目に適した体づくり運動を実施する。 <p>② 主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の運動能力を把握し、不足部分の向上をねらいとした課題を設定する。部分練習やゲームのときに、チームで協力して取り組めるようにする。 ・ 保健分野は、健康と環境、傷害防止等、身近な事と関連させ、実践できる態度を養う。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ全般、体を動かすことについて関心を高め、クラス・グループまたは自ら進んで運動に取り組む意欲を育てる。 ・ あきらめないで最後まで取り組む姿勢を育てる。 ・ 集合時間厳守、集団行動の徹底等、規律を守らせる。
3 年	<p>① 基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走る、跳ぶ、投げるなどの運動能力をさまざまな場面で積極的に活用できるようにする。 ・ 種目に適した体づくり運動を実施する。 <p>② 主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動だけではなく、よく考えて課題に取り組み、解決能力を高めるアドバイスをする。 ・ リーダーを中心に、グループ学習を行い、積極的にアドバイスしあい、互いを高める。 ・ 保健分野は、健康な生活と病気の予防について理解・関心を深め、実践できる態度を養う。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ全般、体を動かすことについて関心を高め、将来にわたって、運動に取り組むことの大切さなどを考えさせる。 ・ 集合時間厳守、集団行動の徹底等、規律を守らせる。

3 今後、授業を行っていく上での「指導方法の課題分析」と「具体的な授業改善案」

	指導方法の課題	具体的な授業改善案
1 年	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導とグループ指導 個別指導 めあて（目標）と振り返りの徹底 学習カード等を利用 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導を中心に基礎的な事項を徹底していく。種目によっては、グループ活動を行い、協力しながら練習させ、課題に気付かせるように取りませせる。また、できる生徒の模範演技ややり方のポイントを発表させ、課題解決のヒントにさせ、意欲を向上させる。質問する時間や機会を多くとる。 実技では、多くの生徒にアドバイスをし、保健では、ワークシートを活用し、問いかけや机間指導をする。 授業始めは、必ず目標の提示、終わりは振り返りの時間をとり、出来栄を確認させる。 学習カード等を通して、知識や理解を深めさせる。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導とグループ指導 自己の課題設定と個別指導 めあて（目標）と振り返りの徹底 学習カード等を利用 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導を中心に基礎的な事項を徹底していく。種目によっては、グループ活動を行い、互いに考え、アドバイスや協力しながらあきらめずに課題に取り組ませる。また、できる生徒の模範演技ややり方のポイントを発表させ、課題解決のヒントにさせ、意欲を向上させる。 質問する時間や機会を多くとるようにする。 課題を明確にし、できるだけ多く練習できるように練習方法を工夫し、技術の定着を図る。 課題を設定するためのヒントや具体的なアドバイスを個別に指導し、自分自身で考えさせる機会を多くする。 実技では、多くの生徒にアドバイスをし、保健では、ワークシートを活用し、問いかけや机間指導をする。 授業始めは、必ず目標の提示、終わりは振り返りの時間をとり、出来栄を確認させる。 学習カード等を通して、知識や理解を深めさせる。また、提出期限を守らせるとともに、内容も充実させる。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導とグループ指導 自己の課題設定と個別指導 めあて（目標）と振り返りの徹底 学習カード等を利用 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導を中心に授業を展開するが、いくつかの共通した課題をもつ生徒同士をグループ化し、お互いに考えながら課題に取り組ませたり、ランダムに組んだ生徒同士で協力しながら課題に取り組ませる。 質問する時間や機会を多くとるようにする。 課題設定にあたり、課題を解決できるヒントや具体的なアドバイスを個別に指導する。 課題解決後、自ら新たな課題を見付け、取り組んでいく。また、チームメイトの課題解決を手伝ったり、他人の優れているところを進んで取り入れていけるようにする。また、できる生徒の模範演技ややり方のポイントを発表させ、課題解決のヒントにさせ、意欲を向上させる。 授業始めは、必ず目標の提示、終わりは振り返りの時間をとり、出来栄を確認させる。 学習カード等を通して、知識や理解を深めさせる。また、提出期限を守らせるとともに、内容も充実させる。

4 その他（補完的内容及び発展的内容に関する指導について、コンピューターの活用 など）

<ul style="list-style-type: none"> 補強運動（腹筋・背筋・腕立て伏せ・ジャンプ・ステップ・腕ふり・もも上げ・体幹トレーニングなど）やストレッチを取り入れ、基本的な運動能力や柔軟性を向上させる。 持久力を高めるために、ランニングを継続して行う。（能力別グループによる実施やフォーム指導等） リーダーを中心に整列指導や準備体操を積極的に行わせる。
